

令和5年度事業報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

1 事業概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行し、生活が通常に戻ってきました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により食料やエネルギーの供給は依然不安定で、加えて円安の継続によって、輸入飼料がかつてないほどに高騰し、前年度に引き続き畜産業界が大きく影響を受けた年となりました。

こうした状況の中、当協会では国・県の実施する緊急対策に機動的に対応しながら、法に基づく経営安定対策や伝染病に備える家畜衛生対策などの経営を守る事業、経営診断を基本とした個別指導や生産基盤を強化する補助事業などの経営を支援する事業、更にはこのような状況下でも前進したい経営に対してもICT等のデジタル技術導入や高い衛生レベルを掲げた農場HACCPの認証支援などの事業、また、消費者との交流による畜産物のPR活動などの事業を幅広く展開しました。

加えて、公益社団法人中央畜産会等が実施する事業に積極的に取り組み、財政基盤の安定に努めるほか、県等への政策要請活動や豚の登録事業、畜産関連10団体の事務局として事務を適切に執行しました。

特に、船橋市で酪農を営む佐久間清・順子さん夫妻が都市近郊の立地で工夫を凝らした特徴的な経営から全国優良畜産経営管理技術発表会で公益社団法人中央畜産会長賞を、また、旭市で養豚を営んできた柴しづいさんが長年の業界への功労で畜産生産者等功績者表彰をそれぞれ受賞し、明るい話題を提供してもらいました。

2 会員及び役職員の構成（令和6年3月31日現在）

（1）会員

区分	計
県域畜産団体	19
市町村	51
自衛防疫組織	47
農協・会社等	26
生産者組合等	11
賛助会員	6
合計	160

（2）役員

（単位：名）

会長	副会長	専務理事	理事	監事	計
1	5	1	9	4	20

（3）職員

（職種別）

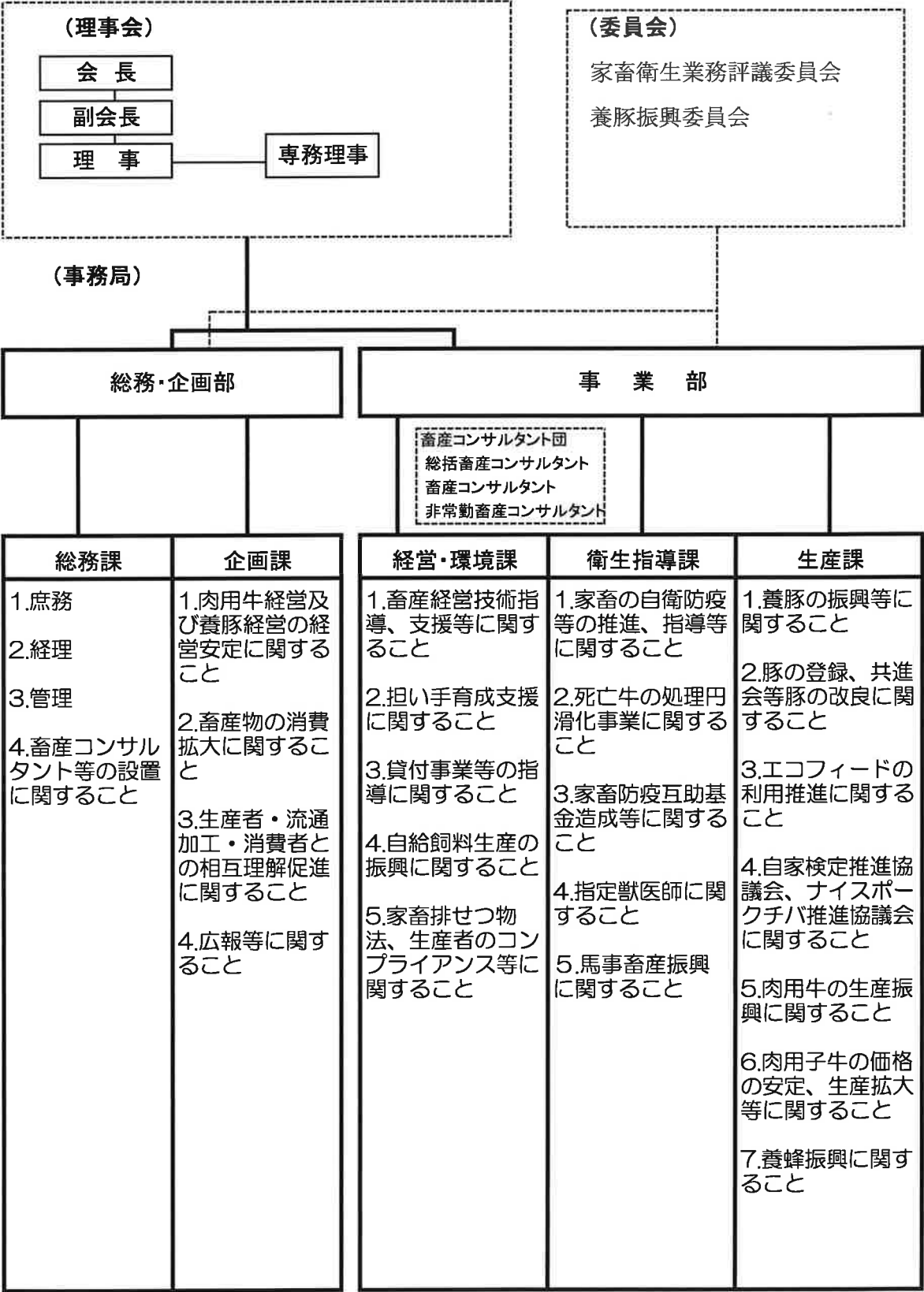
（単位：名）

区分	総括畜産 コンサルタント	畜産 コンサルタント	臨時職員	合計
人数	5	4	6	15

（所属別）

（単位：名）

区分	職員	嘱託及び 臨時職員	合計
専 務 理 事	1	—	1
総 務 ・ 企 画 部	2	4	6
事 業 部	3	5	8
合計	6	9	15



3 会議の開催

(1) 監事会

期 日	場 所	内 容
令和5年 5月30日	K & T 千葉ビル	令和4年度事業報告並びに貸借対照表、損益計算書及び財産目録について

(2) 理事会

期 日	場 所	内 容
令和5年 6月 5日	プラザ菜の花	1) 令和4年度事業報告並びに貸借対照表、損益計算書及び財産目録について 2) 就業規則の一部改正について 3) 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 4) 令和5年度会費の額及び徴収方法について 5) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について 6) 役員の報酬額について 7) 令和5年度定時総会について 報告事項 ア 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について イ 会員の退会について
令和5年 7月 4日	書面	1) 専務理事の解職及び選定について
令和5年11月15日	書面	1) 役員の補欠選任について 2) 令和5年度臨時総会について
令和6年 3月 4日	プラザ菜の花	1) 令和6年度事業計画及び収支予算について 2) 就業規則の一部改正について 3) 旅費規程の一部改正について 報告事項 ア 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

(3) 総 会

期 日	場 所	内 容
令和 5年 6月 26日	プラザ菜の花	報告事項 1 令和 4 年度事業報告について 2 令和 5 年度事業計画並びに収支予算について 議案 1) 令和 4 年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録について 2) 令和 5 年度会費の額及び徴収方法について 3) 役員の選任について 4) 役員の報酬額について
令和 5年12月 7日	K & T 千葉ビル	議案 役員の補欠選任について

(4) 家畜衛生業務評議委員会

期 日	場 所	内 容
令和 5年 6月 28日	リモート	1) 令和 4 年度家畜衛生業務関係事業の実績について 2) 令和 5 年度家畜衛生業務関係事業の計画について 3) 家畜衛生業務に係る指定獣医師の諮問について
令和 6年 2月 15日	リモート	1) 令和 6 年度予防接種負担金額の決定について 2) 令和 6 年度家畜衛生業務関係事業について

(5) 養豚振興委員会

期 日	場 所	内 容
令和 5年 8月 2日	旭市千潟公民館	1) 千葉県肉豚共進会について 2) 種豚改良対策基金及び助成について 3) 系統豚ボウソウ L 4 について 4) 補助事業について

(6) 定例会議

原則として、毎月末に常勤役職員による定例会議を開催し、翌月以降の事業の計画的な推進と進捗状況の確認及び業務の円滑化・効率化に努めた。

I 畜産経営を支援する事業

1 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会）公益

地方競馬全国協会からの支援により実施する以下の取組

- (1) 畜産経営の支援体制の強化
- (2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供
- (3) 馬事普及啓発

2 畜産コンサルタント等設置事業（県）公益

畜産経営の経営改善を図るため、県や関連団体とともに構成する畜産コンサルタント団を設置し経営改善指導を実施

区 分	総括畜産 コンサルタント	畜産 コンサルタント	非常勤畜産 コンサルタント
人数（名）	4	3	27

3 会報誌編集発行事業（協会単独）その他

本会情報誌「畜産ネットワークちば」を3回（第57～59号・1,500部）編集・発行し、協会の協会会員及び関係団体等に配布し、協会及び業界の最新情報を提供

4 地域畜産総合支援体制整備事業（県）公益

- (1) 総合委員会開催（令和5年7月18日）
畜産経営技術等の支援指導・畜産経営状況調査を効果的に行うための具体的な指導内容・手法等を検討
- (2) 専門委員会開催（令和5年7月18日、12月1日）
コンサルタント団のスキルアップ
- (3) 畜産経営体の支援指導を効果的かつ効率的に行うための環境整備
- (4) 地域計画に基づき個別支援指導（酪農経営）の実施

項 目	経営診断 改善指導	経営管理 技術指導	生産技術 指 導	フォローアップ 指 導	計
戸数(戸)	11			10	21
件数(件)	1	3	11	30	45

- (5) 地域経営セミナーの開催
令和5年12月8日（佐倉市、21名）
令和6年 2月8日（南房総市、31名）
- (6) 畜産関係情報のホームページによる提供

5 貸付事業指導等事業（（公財）畜産近代化リース協会）その他

（公財）畜産近代化リース協会から経営の体質強化を目的に導入した機械や施設等の効果的な利用を図るため15基について確認調査及び指導を実施

1 再貸付団体

No.	再貸付団体名	生産者数
1	千葉県みるく農業協同組合	1 2
2	千葉県三和酪農農業協同組合	1
計		1 3

2 貸付施設等

No.	貸付施設区分	調査数
1	自給飼料生産利用機械施設	3
2	生乳生産合理化施設	1 0
3	畜舎環境改善機械施設	2
4	生乳処理流通施設	0
計		1 5

6 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会）公益

大家畜改善緊急支援資金、大家畜経営維持緊急支援資金、大家畜特別支援資金養豚改善緊急支援資金及び養豚経営維持緊急支援資金借入者の経営改善に資するため、県支援協議会（本協会事務局）を開催するとともに現地調査等を実施し、経営改善方策等について検討の上、借入者に対する助言指導を実施

維持緊急支援 1 経営（養豚）

改善緊急支援 3 経営（酪農 1、肉用牛 1、養豚 1）

7 肉用牛経営安定対策補完事業（（独）農畜産業振興機構）公益

肉用牛繁殖基盤の強化を目的に肉用牛ヘルパー活動を支援

2 カ所（安房、香取）

8 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る事業推進業務 公益

畜産クラスター協議会に参画する中心的経営体が行う畜産クラスター計画実現のための収益力強化等の取組みについて、本県の窓口として業務を行った。

（1）機械導入事業（（公社）中央畜産会）

本事業の千葉県の窓口として、令和 6 年度事業要望 3 1 件、令和 5 年度分参加申請 4 2 件の取りまとめ等を実施

また、機械導入状況調査に係る 2 件の現地調査を実施

（2）生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）（（一社）全国肉用牛振興基金協会）

和牛の増産を進めるため、繁殖雌牛の増頭及び和牛肉の増産計画の策定のための支援や繁殖雌牛を増頭した場合に奨励金を交付する事業の推

進事務を実施

参加戸数：2戸、交付対象牛：20頭

9 酪農経営体生産性向上対策事業(畜産ICT事業)及び酪農緊急パワーアップ事業(楽酪GO事業)に係る推進事務((公社)中央畜産会) 公益

酪農家における労働負担軽減・省力化等の取組みに必要な機械装置の導入(畜産ICT事業)及び導入と一体的な施設の整備(楽酪GO事業)を支援する本事業の本県窓口として、事業の普及、事業推進指導業務を実施

畜産ICT事業 1件、楽酪GO事業 2件

10 養豚経営安定対策補完事業((独)農畜産業振興機構) 公益

養豚経営の安定化を図るため、更なる経営コスト削減及び生産性や能力評価に必要な一代雑種雌豚を導入

(5団体養豚生産者11名、純粋種豚1頭、一代雑種雌豚200頭導入)

11 畜産経営災害総合対策緊急支援事業(養豚経営災害緊急支援対策事業)((独)農畜産業振興機構) 公益

災害等による備えのための非常用電源を整備することにより、養豚経営における停電時のリスクを軽減

12 家族経営における畜産DX推進事業((公社)中央畜産会) 公益

畜産経営における生産性の向上や労働負担の軽減等に向けて、畜産のデジタルトランスフォーメーション(畜産DX)を推進するために、技術導入(発情発見装置及び分娩監視装置)が労働負担軽減や所得向上に与える効果の調査、専門家を交えての検討、成果の発表及びガイドブックの作成

13 生産技術情報提供事業((公社)中央畜産会) その他

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及び収集したデータの分析結果に基づく助言指導を実施(酪農7戸、肉用牛1戸)

II 畜産経営を守る事業

1 家畜生産農場衛生対策事業(国庫) 公益

自主的な家畜防疫意識の向上と家畜の損耗防止を図るため、牛ヨーネ病、EBL、BVD対策及び予防接種によるアカバネ病等の発生・流行防止対策を推進

(1) ヨーネ病対策

ヨーネ病発生農場の清浄化を図るための検査及び自主とう汰に対し助成

- (検査 138頭 1農場、とう汰推進 3頭 3農場)
- (2) EBL感染拡大防止対策
EBLの感染拡大防止を推進するため検査及び予防対策に助成
(抗体検査等 291頭 5農場、とう汰推進 3頭 2農場)
- (3) BVD対策
ア BVD病の清浄化を推進するため、発生農場等の重点的な検査及び
本病の持続感染牛のとう汰等に助成
(検査 8, 231頭 17農場、PI牛のとう汰推進 8頭 4農場)
イ 技術講習会の開催 ((一社)千葉県農業協会との共催)
令和6年2月21日 成田市
- (4) 疾病流行防止支援対策事業
牛の異常産の発生・流行を防止するためのワクチン接種に助成

アカバネ病 (単味)	異常産 (3種混合)	異常産 (4種混合)
2, 248 頭	4, 474頭	3, 095頭

2 家畜防疫互助基金支援事業に係る推進事務 ((公社) 中央畜産会) 公益

畜産経営に甚大な影響を及ぼす海外悪性伝染病 (口蹄疫、牛肺疫、牛疫、豚熱、アフリカ豚熱の5疾病) 発生時の損害補償及び経営再建に備え、牛及び豚飼養者による互助基金の造成を支援するための窓口としての事務執行

- (1) 業務対象年間 令和3年度から5年度
(2) 事業参加 牛: 447戸、豚: 139戸

3 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (国庫) 公益

牛海綿状脳症 (BSE) 検査が必要な96ヶ月齢以上の死亡牛の円滑・適正な処理を推進

- (1) 事業推進会議
令和5年7月27日 (リモート・22名)
令和6年3月15日 (千葉市・15名)
(2) 死亡牛の発生農場から化製場までの輸送費及び焼却処理経費に対し助成
(輸送費 95頭、適正処理費 92頭)

4 馬飼養衛生管理特別対策事業 ((公社) 中央畜産会) その他

馬の生産、流通の国際化等に伴い馬インフルエンザ等の侵入や流行の危険性が高いことから、競走馬以外の馬の獣医療実態調査、飼養衛生管理技術講習会等を開催

- (1) 馬飼養衛生管理体制整備委員会 (6月・書面開催・10団体)
(2) 地域馬獣医療技術基礎調査 (10月~11月)
(3) 飼養衛生管理技術講習会 (令和6年1月25日・千葉市・21名)

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（（公社）中央畜産会）その他

地域における自主防疫活動の強化を図るため検討会を開催し、競走馬以外の乗用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種の推進、軽種馬の育成馬、繁殖牝馬を対象とした重要疾病ワクチン接種を支援

（１）検討会（６月・書面開催・１０団体）

（２）ワクチン接種の支援

ワクチン種別	馬インフルエンザ			３種混又は２種混
対象馬	乗用馬	小格馬	軽種馬（育成馬・繁殖牝馬）	
頭数（頭）	５４０	３７	２１	１８

6 家畜防疫・衛生指導対策事業（（公社）中央畜産会）公益

（１）地域自衛防疫推進

千葉県における自衛防疫を強化・促進するための会議の開催、悪性伝染病発生時の防疫演習の実施

ア 地域自衛防疫取組促進

ア) 家畜衛生業務評議委員会議の開催

前述

イ) 防疫演習

a 急性悪性家畜伝染病発生時防疫活動に係るサブリーダー演習

令和５年 ８月２９日 八街市 ７０名

令和５年１０月２６日 八街市 ６８名

b 高病原性鳥インフルエンザ発生に係る防疫演習

令和５年１０月１９日 山武市 １６２名

（２）地域疾病対策

船橋競馬場競走馬防疫会による馬伝染性貧血に係る競争用馬の抽出サーベランス検査を実施 ６０頭

（３）地域農場HACCP認証支援

農場HACCPの普及促進を図るため、農場HACCP推進農場の実態を調査するとともに、認証に向けて取組む農場に対して技術指導者を派遣し、効果的な指導・支援を行い、認証普及を図った。

ア 普及推進協議会等会議の開催

ア) 普及推進協議会 令和５年６月３０日、令和６年３月８日

イ) 地域取組促進活動 令和５年７月２７日、８月９日、９月２９日
令和６年２月２７日

イ 地域農場HACCP認証構築指導

ア) 意見交換会 令和５年６月３０日、令和６年３月８日

イ) 構築指導

・対象農場：酪農１１、肉牛２５、豚２７、採卵鶏４、肉用鶏２
計６９農場

・農場HACCP指導員：20名

7 地域養豚生産衛生向上対策支援事業（（公社）中央畜産会）**公益**

養豚経営において生産性を著しく阻害する慢性疾病の発生の低減とまん延防止を図るため、農場管理対策の検討、モニタリング検査により清浄化農場の維持拡大を推進（参加農家44戸29農場）

（1）推進会議（全て旭市で開催）

令和5年 5月24日（24名）、7月27日（16名）
9月14日（10名）

令和6年 1月31日（12名）、2月 1日（24名）延べ86名

（2）セミナー（全て旭市で開催）

令和5年 6月20日（105名）9月22日（34名）
11月22日（43名）

令和6年 2月21日（45名）延べ227名

（3）検査

抗体検査 2,428頭、遺伝子検査 779頭

8 市町村等自衛防疫活動支援事業（協会単独）**公益**

当協会で実施する家畜衛生業務の円滑かつ的確な推進を図るため、市町村家畜防疫会等の行う自衛防疫活動に対して支援・指導を実施

・活動支援助成金交付先 市町村家畜防疫会 47団体

9 特定疾病損耗防止事業（協会単独）**公益**

（1）下表の疾病に対して予防接種を推進

牛伝染性鼻気管炎ワクチン	1,478頭
豚丹毒生ワクチン	3,000頭
日本脳炎・パルボワクチン	213頭
異常産ワクチン（3種混合、4種混合）※	112頭

※ 県立農業高校

（2）インボイス制度開始に伴う事務手続き説明会の開催

令和5年9月22日（リモート・34名）

10 家畜伝染性疾病防疫活動円滑化推進事業（協会単独）**その他**

口蹄疫やPEDなどの家畜伝染性疾病の発生時に、消毒用機器や防疫対応資材を速やかに運搬するための車両1台を千葉県に貸与

11 生産農場衛生対策緊急強化事業（協会単独）**公益**

（1）飼養衛生管理基準パンフレット（英語、中国語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、モンゴル語、クメール語）の配布

（2）外国人研修生等を対象とした出前講座の実施

令和5年 4月 4日（匝瑳市・モンゴル語）

9月22日（船橋市・タイ語）

10月 6日（旭市・ベトナム語）

Ⅲ 畜産の活性化を進める事業

1 地域畜産支援指導等体制強化事業（（公社）中央畜産会）**その他** （畜産関係団体調整機能強化事業）

- （1）視察研修 令和6年3月18日
- （2）畜産経営相談窓口の設置 通年
- （3）地方競馬開催支援 畜産フェア等各種イベントでのPR

2 畜産フードチェーン連携推進事業（協会単独）**公益** 千葉県産畜産物のPRイベントの共催

3 畜産フェア（協会単独）**公益**

千葉県畜産のPR、県産畜産物や県産食品の消費拡大及び食育等の推進を目的に千葉県消費拡大推進協議会と共催で畜産フェアを開催（令和5年11月3日 木更津市）

4 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業に係る推進事務（（一社）日本畜産物輸出促進協会）**公益**

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会が実施する輸出に対する生産者の理解醸成（パンフレット配布）及び輸出相談窓口の設置

Ⅳ 畜産物の品質向上を図る事業

1 養豚改良対策事業 **その他**

本県の豚の改良推進と生産技術向上を図るための支援

- （1）登録事業（協会単独）
種豚登録85頭、子豚登記283頭、肉豚証明990頭
- （2）肉豚共進会事業（協会単独）
品質の高い豚肉生産技術の向上を図るため関係機関の協力を得て開催
10月3日～5日 出品頭数130頭 旭市
- （3）優良種豚場認定事業（（一社）日本養豚協会）
種豚の生産基盤強化と登録事業の推進を図るため（一社）日本養豚協会認定規定に基づく認定農場を支援
遺伝資源保存指定種豚場 3場
- （4）原種豚認定事業（協会単独）

原種豚認定農場に助成（３農場）

血統能力の証明に助成

（種豚登録５４頭・子豚登記１１８頭・肉豚証明９９０頭）

２ 千葉県産オリジナル豚肉生産体制評価事業（県）**その他**

県系統豚ボウソウル４導入農場における飼養管理の向上を図るため、ボウソウル４由来の一代雑種（Ｌ４Ｗ）や肉豚（Ｌ４ＷＤ）の繁殖成績及び肉質・官能検査を含めた産肉成績の比較検討

調査農場４場、ボウソウル４・１６腹、一代雑種・１０腹

Ⅴ 畜産経営の安定化を図る事業

１ 肉用子牛生産者補給金制度（（独）農畜産業振興機構）**公益**

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用子牛の販売価格が下落した場合に生産者補給金を交付

（１）交付契約締結者 １２２人

（２）事務委託先契約締結数 １１件

（３）契約肉用子牛の個体登録（単位：頭）

区分 品種	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	計
黒毛和種	204	207	277	212	900
その他肉専用種	2	0	0	0	2
乳用種	378	346	211	216	1,151
交雑種	2,198	2,233	1,966	1,756	8,153
計	2,782	2,786	2,454	2,184	10,206

２）生産者積立金の積立額

（単位：円）

区分 品種	契約 頭数	積立 単価	積立額	負担区分		
				農畜産業 振興機構	千葉県	生産者
黒毛和種	900	1,600	1,440,000	720,000	360,000	360,000
その他肉専用種	2	18,800	37,600	18,800	9,400	9,400
乳用種	1,151	6,800	7,826,800	3,913,400	1,956,700	1,956,700
交雑種	8,153	3,200	26,089,600	13,044,800	6,522,400	6,522,400
計	10,206	—	35,394,000	17,697,000	8,848,500	8,848,500

3) 生産者補給金交付状況

区分 品種	交付対象		補給金 (円)		交付対象 時期
	人数 (人)	頭数 (頭)	1 頭当 り単価	交付額計	
黒毛和種	27	151	34,400	5,194,400	第3四半期
	23	243	33,500	8,140,500	第4四半期
小計	—	394	—	13,334,900	—
乳用種	4	376	15,900	5,978,400	第1四半期
合計	54	770	—	19,313,300	—

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 ((独) 農畜産業振興機構) 公益

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化推進事業

肉用子牛生産者補給金制度にかかる業務を適正に実施するため、全国統一電算処理システムによる処理の推進、事務委託先及び生産者への指導、肉用子牛取引情報の収集分析

(2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度事務の円滑な推進

3 和子牛生産者臨時経営支援事業 ((独) 農畜産業振興機構) 公益

和子牛生産者のセーフティーネットの臨時的な措置として、市場等で取引される和子牛の販売価格が地域毎に設定した発動基準を下回った場合に支援交付金を交付

区分 品種	交付対象		支援交付金 (円)		交付対象 時期
	人数 (人)	頭数 (頭)	1 頭当 り単価	交付額計	
黒毛和種	17	74	16,400	1,213,600	第3四半期
	13	144	16,400	2,361,600	第4四半期
合計	—	218	—	3,575,200	

4 肉用牛肥育経営安定交付金制度 ((独) 農畜産業振興機構) 公益

畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉用牛の生産者の経営に及ぼす影響を緩和することを目的としている。当協会では、(独) 農畜産業振興機構の委託を受け、交付金の交付業務等を行うことで肉用牛経営の安定に努めた。

[交付金交付状況] (令和5年1月期～12月期)

品種区分	交付対象		交付金額計 (円)
	延べ人数 (人)	頭数 (頭)	
肉専用種	458	3,079	239,046,127
交雑種	465	9,542	323,508,888
乳用種	70	1,445	53,246,780
合 計	993	14,066	615,801,795

5 千葉県肉豚経営安定対策事業 (県) **公益**

(独) 農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度の負担金の一部を助成し、養豚経営の安定と肉豚の安定的な生産確保に努めた。

養豚事業者数 150名 補助単価 1頭当たり 40円

6 畜産飼料価格高騰緊急対策事業 (県) **公益**

輸入原材料価格高騰により、経営に著しい影響を受けている肉用牛及び養豚経営に対し臨時的な支援金を給付

対象経営 (戸)	算定根拠	単価	支援金 (円)
養豚 (7)	配合飼料価格安定制度制度契約数量 118,690t	600 円/t	71,214,000
肉用牛 (179)	乳用種飼養頭数 476 頭 肉専用種及び交雑種飼養頭数 38,103 頭	15,000 円/頭 3,000 円/頭	7,140,000 114,309,000
(186)			192,663,000

本事業は他団体と連携し実施しているので畜種別の全ての経営を網羅していない

VI 特別事業

1 種豚改良対策基金 (協会単独) **その他**

養豚改良対策事業における登記、登録及び肉豚共進会への支援に活用

VII その他

1 千葉県畜産物消費拡大推進協議会関連事業

畜産フェアの開催

[実施概要]

期日：令和5年11月3日 (金)

場所：三井アウトレットパーク木更津

内容：県産農畜産物及び加工品の販売

卵・牛肉及び豚肉並びにその加工品、乳製品、はちみつ、ピッグスキムレザー加工品、牛乳 (試飲)

県産畜産物を中心とした景品による抽選会
畜産の展示・体験コーナーの設置

2 千葉県養蜂協会関連事業

- (1) 養蜂振興推進事業（県委託事業）
 - ・養蜂振興法に基づき、県外からの転飼者の調整を実施
 - ・蜜源植生状況調査、花粉交配実態調査、蜂蜜等生産量調査並びに寄生虫の発生状況調査を実施
- (2) ポリネーション推進事業
県果樹連等と交渉し、梨花粉交配用蜜蜂の貸し出し
- (3) 販売対策事業
千葉県畜産賞「ハートビートカップ（準重賞）」の副賞として蜂蜜を提供
- (4) 蜜源増殖対策事業
蜜源植物の苗木（椿、桜等）を共同購入し会員に配布し植栽を実施
- (5) 防疫対策事業
ダニ駆除薬等（アピスタン、アピパール）を共同購入し、会員に配布
- (6) 養蜂飼料等斡旋物資対策事業
一般社団法人日本養蜂協会の斡旋による輸入免税砂糖等の共同購入を行い会員に配布

3 千葉県馬事畜産振興推進事業

- (1) 冠レース「ハートビートカップ」の実施
令和5年12月20日 船橋競馬場メインレース
優勝馬関係者に対して賞状並びに副賞（県産畜産物）を授与
- (2) ミルクウィークの実施
令和6年3月15日 船橋競馬場
来場者に対し牛乳・乳製品の消費拡大をPR

4 ナイスポークチバ推進協議会関連事業

生産者自らの資金拠出による活動の柱である、県産（国産）豚肉の消費拡大、養豚経営安定強化のための政策要請、後継者育成等の活動により、養豚経営の安定強化と産業振興を図るため、協会として生産者の活動を支援するための事務を取り扱った。

- (1) NPC通信の発行とポスター作成配布
- (2) 経営安定と生産性向上のための関連行事への協賛
- (3) サポーター会員制度による消費者交流
- (4) 千葉県畜産フェアに参加し、県産豚肉及び養豚産業情報をPRし消費拡大を推進

- (5) 県及び自民党県議会議員会畜産振興議員連盟に対し意見交換及び支援要請
- (6) 国担当部局との豚熱及び疾病対策に関する意見交換
- (7) アフリカ豚熱（A S F）水際対策の一環として成田国際空港での防疫キャンペーンに参加
- (8) 養豚経営安定対策事業（全国肉豚）の業務委託に伴う農家指導
- (9) 登録事業委託団体として豚の改良推進

5 千葉県自家検定推進協議会関連事業

原種豚の確保と能力の高い種豚の改良を担う生産者に対し、協会の執行事業関連事務を取り扱った。

6 ちば畜産レディースネットワーク関連事業

畜種を越えた畜産に携わる女性のネットワークとして、会員相互の情報交換・研修・消費者交流等の活動の実施

7 N P O法人いきいき畜産ちばサポートセンター関連事業

- (1) 畜産経営支援事業
 - ア 畜産情報収集・提供事業
 - イ 地域農場H A C C P 認証支援事業及びJ G A P 支援
 - ウ 馬事畜産振興推進事業
 - エ 死亡牛等の受入及び保管等補助業務（千葉県公募事業）
 - オ 生産農場衛生対策緊急強化事業（千葉県畜産協会事業）、外国人技能実習生等を対象とした出前講座の開催、6 か国語訳パンフレットの作成配布
- (2) 人材情報システム運営及び団体事務受託
 - 県立農業大学校畜産関係非常勤講師を派遣
- (3) 消費者交流・動物情操教育事業
 - ア 畜産フェアに参加し、農場 H A C C P パネルの展示及びパンフレット配布、消費者アンケート調査を実施。また、認証農場の酪農2、採卵鶏1（チーズ、菓子、牛乳、若鳥卵等）が出店協力。‘畜産なんでも相談’コーナーを設け畜産に関する悩みにアドバイスした。
 - イ 千葉県馬事畜産振興協議会の事業活動に協力

8 チバザビーフ協議会関連事業

- (1) 県産牛肉ブランド力向上対策事業（県補助事業）
 - 県産牛肉のブランド力向上に不可欠な出荷頭数の拡大と高品質化及び銘柄牛肉の知名度向上に努めた。
 - P R 活動（千葉市、市原市、長生村、木更津市ほか）
- (2) 肥育技術向上

ア 枝肉品評会の開催

飼養管理技術の向上を図るため、東京中央卸売市場において枝肉共励会を開催（令和6年3月27日）

イ 肥育技術の向上を目的に枝肉成績分析及び血液検査分析を実施

9 チバザポーク販売推進協議会関連事業

千葉県の銘柄豚肉出荷団体が連携しチバザポークの知名度向上と販売促進を図るため「千葉テレビ」や各種イベントを通じてPR

10 千葉県CSF感染拡大防止対策協議会関連事業

野生猪での感染拡大防止を図り養豚場へのウイルス侵入を防ぐため、県と連携して野生猪への経口ワクチン散布を実施（5か所×2回）